

# 大会規定

---

東京都少年サッカー連盟第 14 ブロック  
2017 年度版

2017/06/26

## 目次

大会共通規定.....	3
1. 参加資格.....	3
2. 競技規則.....	3
3. 表彰.....	6
4. 組み合わせ.....	6
5. その他.....	6
大会別規定.....	7
<<東京都U-12サッカー14ブロックリーグ>>.....	7
1. 参加資格.....	7
2. 競技規則.....	7
<<全日本少年サッカー大会 14Bブロック予選>>.....	8
1. 参加資格.....	8
2. 競技規則.....	8
<<J A東京カップ東京都5年生サッカー大会 14ブロック予選>>.....	9
1. 参加資格.....	9
2. 競技規則.....	9
<<ハトマークフェアプレーカップ東京都4年生サッカー大会 14ブロック予選>>.....	10
1. 参加資格.....	10
2. 競技規則.....	10
<<14ブロック 5年生大会>>.....	11
(旧新人戦).....	11
1. 参加資格.....	11
2. 競技規則.....	11
<<14ブロック 4年生大会>>.....	12
1. 参加資格.....	12
2. 競技規則.....	12
<<14ブロック 3年生大会>>.....	13
1. 参加資格.....	13
2. 競技規則.....	13
<<14ブロック 2年生大会>>.....	14
1. 参加資格.....	14
2. 競技規則.....	14
8人制競技規則.....	15
1. 人数について.....	15
2. 交代の手続き.....	15
3. 不正入場に関して.....	15

4. 補助審判について .....	15
5. P K戦について .....	15
6. その他 .....	16
ユニフォーム規定 .....	17
＜ユニフォーム＞ .....	17
＜ユニフォームの色彩＞ .....	17
＜ユニフォームへの表示＞ .....	17
変更履歴 .....	19

# 大会共通規定

## 1. 参加資格

- ① 当年度、(財)日本サッカー協会第4種及び女子(小学生)に登録したチームで、活動拠点が14ブロック内(小平市・東村山市・東大和市)であること。
- ② 14ブロック役員会で承認されたチームであること。
- ③ チームの構成は単一チームに限られ、年間を通じて継続的に活動していること。
- ④ 選手は(財)日本サッカー協会に個人登録を済ませてあるものに限る。

注：3年生以下においては、確実に4年生以上の大会に出場しない選手に限り、(財)日本サッカー協会に個人登録を行う必要はない。

- ⑤ 年間を通してスポーツ傷害保険に加入していること。

## 2. 競技規則

- ① 試合は、当年度「日本サッカー協会競技規則」に準ずる。
- ② 試合がトーナメント戦の場合、両チームが同点・無得点の場合には、3人ずつのPK方式とする。  
注：東京都大会へ推薦する大会の場合、3位決定戦は前後半各5分の延長戦を行った上、同点の場合はPK戦にて決定する。
- ③ リーグ戦の順位は1.勝ち点(勝ち…3・引き分け…1・負け…0) 2.得失点差 3.総得点 4.当該チームの直接対決 5.抽選の順で決定する。

参考試合が発生した場合のリーグ戦の成績は、東京都U-12サッカーブロックリーグの場合は不戦勝チームに勝ち点3・得点3を与え、不戦敗チームには勝ち点-1・得点0とする。それ以外の大会は当該チームを除いたチームにて順位を決める。(当該チームの試合は全て無効とする)

- ④ ベンチに入る選手数は制限無しとする。自由な選手交代とする。  
注：試合にベンチ入りしない対象学年の選手は、ベンチ側後方又は少し離れた所定の場所での待機を認める。
- ⑤ ベンチに入る監督及びチーム役員の数2名以上、3名までとする。
- ⑥ ベンチ入り指導者のうち、ハトマークフェアプレーカップ・J A東京カップ・全日本少年サッカー大会については、最低1名の(財)日本サッカー協会認定D級指導者資格以上・公認キッズリーダー又は、ブロックが認めた指導者講習会受講者であることとする。

その他、ブロック独自大会のベンチ入り指導者については、上記資格取得者が望ましい。

- ⑦ 特記なき限り14ブロック制定の選手登録表を使用し、試合毎に開始30分前迄に本部に提出すること。

注：選手登録表は当該の試合毎に提出可能とする。試合開始30分前までに本部へ申し出ること。

- ⑧ 2学年下の選手を出場させる場合は、健康管理・安全管理に関し、代表者・監督が十分に考慮する。
- ⑨ 大会中に退場処分を受けたものは、次の試合に出場できない。

(警告回数が2に達した場合も同処置とする)

東京都U-12サッカーブロックリーグにおいて、東京都少年サッカー連盟競技運営に則る。(同一リーグにおいて警告累積3回は次の試合に出場出来ない。累積は前期・後期リーグ終了時に消滅する)

⑩ 大会の試合中に退席処分を受けたチームの監督及びチーム役員は、次の試合にベンチに入ることはいできない。

⑪ ユニフォームは、チーム名と選手固有の番号が入らなければならない。

⑫ ユニフォームは色の異なる正・副2着を用意する。

但し、14B3年生大会に於いては、副がない場合には、FPはビブス着用可とするがGKのビブス着用は認めない。また、14B2年生大会に於いては、副がない場合には、FP、GKともにビブス着用を認める。

・東京都U-12サッカーブロックリーグと他の14B主催の大会が重複する場合、東京都U-12サッカーブロックリーグの副の準備は免除する。

・3ピリオド制採用大会は、GKの副の準備は免除する。また、同一試合に出場するGKユニフォームは同色でなくとも出場を認める。

⑬ 給水タイムを用いる場合、ロスタイムにカウントする。(作戦タイムではない。約1分を目安とする。)

但し、7月～9月で開催する大会で、WBGT値28℃以上の場合でのクーリングブレイクを設ける場合はロスタイムにカウントする。(この際のピッチ及びベンチからの移動、戦術的指示も認める。)

⑭ 8人制大会のコートサイズは、6年生大会と5年生大会(68×50)、4年生以下の大会(60×40)が望ましいが、固定式のゴールやグラウンドの面積が足りない場合には、その限りではない。

⑮ 試合球は、4号球ボールとする。スパイクは固定式に限る。ゴールは、少年用とする。

⑯ 試合を担当するチーム帯同審判員は、審判証を携帯し、試合開始前に本部に提示すること。

また、正しく審判服(上下とも正規の審判服であることを着用し、装飾品(指輪、ネックレス等)は外すこと。

⑰ 14ブロック主催の大会では、同一チームで2チームの参加を認める。また、2チームとも中央大会に出場することが出来る。

複数チームエントリーについて、該当学年のみで合計20名以上の登録選手がいる場合とする。JA東京カップ5年生大会については該当学年のみで36名以上の登録選手がいる場合とする。(複数エントリーチームの登録選手は2チームとも該当学年のみとし、下級生を含むことはできない)

5人制の場合該当学年：1チーム4名以上の登録条件満たしていれば、2チーム以上の参加を認める。

注(補足)

・2チーム参加の場合、代表者会議開始前までに14Bメンバー表を運営部へ提出する。

・抽選では、同一母体チームの一次リーグ戦は、チーム同士の対戦をしない組合せを考慮するが、二次リーグ戦以降は考慮を行わない。

・対象学年の年度の最初の大会でのシードチームで2チーム参加の場合、1チームはシードチームの扱いを行うが、他の1チームは通常の抽選を行う。対象学年の次大会のシードチームは、前回の大会の結果で決定する

・2チーム参加チームが会場提供の場合で3チームリーグ×2以上の試合ができる場合、会場チームとの調整で同一会場の調整を行う場合がある。

・2チームが同一リーグになった場合、同一母体チーム試合の審判割当にならないように出来るだ

け組合せを調整する。

- ・チーム名は 母体チーム名+アルファベット1文字とする。
- ・全日本少年サッカー大会のU12代表決定戦で4チームが東京都の推薦順位になった場合、東京都へ推薦する。
- ・次順位が複数ある場合、対象チームで決定戦を行う。

⑱ 審判については、各チーム2名の審判員を帯同させる事。(審判部及び本部で行う場合あり)

- ・審判4審制を採用する大会で4チームリーグの場合は、試合対戦以外のチームで行うこと。3チームリーグの場合は、主審・予備審を試合対戦以外のチームにて行い、副審を対戦チームよりそれぞれ1名で行うこと。
- ・審判1審制+補助審を採用する大会で4チームリーグの場合は、試合対戦以外のチームで行うこと。3チームリーグの場合は、試合対戦以外のチームにて主審・補助審の2名で行うこと。
- ・14ブロック全ての大会において、審判員の眼鏡着用は認めません。(スポーツ眼鏡の着用については認めます)

⑲ 3ピリオド制の採用大会の細則

・選手登録表：

3ピリオド専用の選手登録表を使用する事。

注：第1ピリオド、第2ピリオド、第3ピリオドの出場選手を事前に決定し提出する事。

提出後、当該試合の出場選手に変更がある場合、事前に審判へ申告する事で認める。

・選手の人数：

試合の選手の人数が16名未満の場合、出場資格はありません。(参考試合)

常に両チームとも8人の選手で試合を行う。

注：当日中に退場・負傷等で選手の人数が16名未満になった場合も同様。(参考試合)

・選手の交替：

第1、第2ピリオドは総入れ替えをすること。第3ピリオドのみ自由な交代とする。負傷者が出た場合は選手を補充して良い。ただし、同一選手の出場は2ピリオドまでとし、3ピリオドで全てに出場することはできない。延長戦については前後半同一選手の出場ができる。

・サイドの決定：

第1ピリオド・第2ピリオドは前後半制と同様にコイントスでサイドを決定し、第2ピリオドはサイドをチェンジする。第3ピリオドのサイドはコイントスで決定し、約半分(目安6分)が経過した(アウトオブプレー時)ところでサイドをチェンジする。

(キックオフで再開する)タイミングは審判に委ねる。

延長戦時、前後半制と同様にコイントスでサイドを決定する。

・給水について：

飲水タイムは採用しない。(但し、7月～9月での開催時には【「熱中症対策ガイドライン」における14ブロックの対策について】に準じて採用とする場合あり)

### 3. 表彰

1 位～4 位チーム…トロフィー・賞状

### 4. 組み合わせ

① 14 ブロック代表者会議にて抽選を行う。

② 前大会の上位 8 チームをシードとする。

前大会のブロック大会ベスト 4 チームを第 1～4 シードとし、第 1 シードから順に一次リーグの 1 組～12 組の抽選を行う。抽選では 第 1 シード～第 4 シードは 二次リーグで対戦しない一次リーグの組に割り当てる。

残りの 4 チームを第 5 シードとし、抽選により一次リーグの各組みに分散して組み入れる。注：一次リーグで他のシードと対戦しない。

(前大会が都合により、中止や打ち切りで上位 8 チームが決まらなかった場合には、該当する大会まで遡りその大会結果を採用する。)

但し、前大会でベスト 8 進出が決まっているチームがある場合には、そのチームを次大会シードチームとする)。

全大会とも、全参加チームで抽選を行う。

③ 代表者会議には、チームの代表者 またはその代わりの者が必ず出席すること。

④ 会議には決定権のある代表者または、代表権のある者が出席すること。

### 5. その他

① 7 月～9 月に開催される大会での熱中症対策については、2016 年 6 月 30 日付【「熱中症対策ガイドライン」における 14 ブロックの対策について】に準ずる事とする。

② 大会規定、競技規則（少年連盟大会要項・ハンドブック参照）に違反する選手ならびにチーム、また審判や、本部、及び会場等へ懲戒罰行為をした選手、監督、コーチ代表者、父母等関係する参観者は、その内容によって処分される。

# 大会別規定

## <<東京都U-12サッカー14ブロックリーグ>>

### 1. 参加資格

6年生以下で編成されたチームであること（東京都U-12ブロックリーグ用の選手登録表を使用すること）

### 2. 競技規則

- ① 大会方式は東京都U-12サッカーリーグ1部及び2部参加チームを除いた参加可能なブロック加盟チームにて、前期リーグ → 後期リーグを実施する。
  - 1) 前期リーグは全参加チームで行い、9チーム以上のリーグ戦にて実施する。前期リーグの組分けは14B5年生大会の東京都U-12サッカーリーグ1部及び2部参加チームを除いた上位12チームをシードとする。該当の12チームが無い場合、対象チームのみシードとする。  
※チーム数については、9チーム以下になる場合あり。
  - 2) 後期リーグは前期リーグの成績により9チーム以上のリーグ戦にて実施する。  
※チーム数については、9チーム以下になる場合あり。
  - 3) 各リーグには幹事・副幹事チームを選出し、参加チーム協力してリーグ運営を行う。
  - 4) 前・後期リーグ戦は、参加チームが各々会場を提供して行う。4月1週目から10月1週目までの開催とする。各ブロック加盟チームは、予めブロックより決められた指定日に、各ブロックの会場提供の不足を除き、試合を実施する。試合は、原則 土曜日・日曜日の開催とする。各ブロックの加盟チームは、指定日に会場提供を行うこと。加盟チームは最低、月に2日間（出来れば半日以上）の会場提供を行う義務がある。会場提供が出来ない加盟チームは各ブロック幹事チーム・副幹事チームへ連絡する事。チーム使用の会場が狭い場合、幹事・副幹事チームへ連絡して、了解を得ること。指定日免除条件は14B版細則を参照。  
1日の試合数は1チーム最大2試合まで、連続する土日2日間で3試合までとする。
  - 5) 試合時間は、**前期リーグは40分（前後半20分・インターバル5分）、後期リーグは30分（前後半15分・インターバル5分）**とする。
- ② 8人制による競技とする。（4審制）  
別紙、試合の時程表で審判の割当を行う。
- ③ 後期リーグ戦上位1位～4位の内1チームを14B委員長の推薦で、当該チームは東京都U-12サッカーリーグ2部参入戦への出場資格を得る。委員長の推薦基準は、14B運営への協力度、東京都U-12サッカーリーグ1部・2部の大会運営規則の運営等が出来ると認めたチームとする。
- ④ 後期リーグ戦後、**A組のみ4チーム×2グループを基本とし「チャレンジリーグ」を実施する。試合時間は15分ハーフとする。（チャレンジリーグ戦による成績は反映しません）**  
**尚、日程の都合上、チャレンジリーグ戦は実施しない場合があります。**



## ＜＜全日本少年サッカー大会 14Bブロック予選＞＞

### 1. 参加資格

6年生以下で編成されたチームであること。事前登録した選手のみ出場できる。(U-12ブロックリーグ用の選手登録表を使用すること)

### 2. 競技規則

- ① 大会方式は東京都U-12サッカーリーグ1部及び2部参加チームを除いた、U-12サッカー14ブロックリーグに参加したブロック加盟チームにて実施する。
  - 1) リーグ戦とし、東京都U-12サッカーブロックリーグ・後期リーグでの成績にシードを決める。参加チームが会場を提供して行う。
  - 2) 試合時間は全試合40分(前後半20分・インターバル5分)とする。但し、1日3試合以上の場合は30分(前後半15分・インターバル5分)とする。
- ② 8人制による競技とする。(4審制)  
別紙、試合の時刻表で審判の割当を行う。
- ③ 決勝トーナメントの1～4位を全日本少年サッカー大会東京都大会に推薦する。

## ＜＜ＪＡ東京カップ東京都５年生サッカー大会 １４ブロック予選＞＞

### １．参加資格

５年生以下で編成されたチームであること。

### ２．競技規則

#### ① 大会方式は一次リーグ（３６チーム例）→ トーナメント

一次リーグは全参加チームで行い、３チームリーグにて実施する。その結果によりリーグ戦、若しくはトーナメント戦を行い、決勝トーナメントは４チームにて順位を決する。

前年度、１４Ｂ４年生大会の上位８チームはリーグ戦の組合せシードとする。

該当の８チームが無い場合、対象チームのみシードとする。

大会運営上の都合により、リーグ戦を用いない場合もある。

#### ② 試合時間は、一次リーグ戦３０分（前後半１５分・インターバル５分）とする。

二次予選以降は、第３ピリオド制を採用する

二次予選以降の時間は、１２分×３ピリオド(12-1-12-5-12分)とする。

- ・ 第３ピリオドは半分(６分)でエンドを交代する。
- ・ 同点の場合は、ＰＫ方式(３名)により勝者を決定する。準決勝・決勝は１０分(前・後半５分)の延長戦を行う。
- ・ 第１、第２ピリオドは総入れ替えをすること。第３ピリオドのみ自由な交代を認める。
- ・ 負傷者が出た場合は選手を補充して良い。ただし、同一選手の出場は２ピリオドまでとし、３ピリオドで全てに出場することは出来ない。

延長戦については、前後半同一の選手の出場ができる。

#### ③ ８人制による競技とする。(４審制)

別紙 試合の時程表で審判の割当を行う。

#### ④ 決勝トーナメントの１～３位を東京都中央大会に推薦する。

大会のベスト８は１４Ｂ５年生大会のシードとなる。

## ＜＜ハトマークフェアプレーカップ東京都４年生サッカー大会 １４ブロック予選＞＞

### １．参加資格

４年生以下で編成されたチームであること。

### ２．競技規則

- ① 大会方式は一次リーグ全参加チームで行い、３チームリーグにて実施する。その結果によりリーグ戦、若しくはトーナメント戦を行い、決勝トーナメントは４チームにて順位を決する。  
前年度、１４Ｂ３年生大会の上位８チームはリーグ戦の組合せシードとする。  
該当の８チームが無い場合、対象チームのみシードとする。  
シードの組合せは、大会参加チーム数で決定する。
- ② 試合時間は、１日２試合以内は４０分（前後半２０分・インターバル５分）１日３試合以上の場合  
は３０分（前後半１５分・インターバル５分）とする。
- ③ ８人制による競技とする。（４審制）  
別紙、試合の時程表で審判の割当を行う。
- ④ 決勝トーナメントの１～３位をフェアプレーカップ中央大会に推薦する。
- ⑤ 大会のベスト８は、１４Ｂ４年生大会のシードとなる。

## ＜＜１４ブロック ５年生大会＞＞

(旧新人戦)

### １．参加資格

５年生以下で編成されたチームであること。(次年度Ｕ１２－東京都Ｕ－１２サッカーリーグ１部及び２部参加チームも出場出来る)

### ２．競技規則

- ① 大会方式は一次リーグ全参加チームで行い、３チームリーグにて実施する。その結果によりリーグ戦、若しくはトーナメント戦を行い、決勝トーナメントは４チームにて順位を決する。  
１４ＢＪＡ東京カップの上位８チームはリーグ戦の組合せシードとする。  
該当の８チームが無い場合、対象チームのみシードとする。
- ② 試合時間は、１日２試合以内は４０分（前後半２０分・インターバル５分）１日３試合以上の場合は３０分（前後半１５分・インターバル５分）とする。
- ③ ８人制による競技とする。（４審制）  
別紙、試合の時程表で審判の割当を行う。
- ④ 当大会の成績は次年度の東京都Ｕ－１２サッカー１４ブロックリーグの組合せに反映する。

## ＜＜１４ブロック ４年生大会＞＞

### １．参加資格

４年生以下で編成されたチームであること。

### ２．競技規則

- ① 大会方式は一次リーグ全参加チームで行い、３チームリーグにて実施する。その結果によりリーグ戦、若しくはトーナメント戦を行い、決勝トーナメントは４チームにて順位を決する。  
１４Ｂハトマークフェアプレーカップの上位８チームはリーグ戦の組合せシードとする。  
該当の８チームが無い場合、対象チームのみシードとする。
- ② 試合時間は、１日２試合以内の場合は４０分（前後半２０分・インターバル５分）、１日３試合以上の場合は３０分（前後半１５分・インターバル５分）とする。
- ③ ８人制による競技とする。（４ 審制）  
別紙、試合の時程表で審判の割当を行う。
- ④ 当大会のベスト８は、次年度のＪＡ東京カップ大会のシードとなる。

## ＜＜１４ブロック ３年生大会＞＞

### １．参加資格

３年生以下で編成されたチームであること。

### ２．競技規則

- ① 大会方式は一次リーグ全参加チームで行い、３チームリーグにて実施する。その結果によりリーグ戦、若しくはトーナメント戦を行い、決勝トーナメントは４チームにて順位を決する。  
前年度、１４Ｂ２年生大会上位８チームはリーグ戦の組合せシードとする。  
該当の８チームが無い場合、対象チームのみシードとする。
- ② 試合時間は、１日２試合以内の場合は３０分（前後半１５分・インターバル５分）、１日３試合以上の場合は２４分（前後半１２分・インターバル５分）とする。
- ③ ８人制による競技とする。（１審制＋補助審判１名）  
別紙 試合の時刻表で審判の割当を行う。
- ④ 大会のベスト８は、次年度のフェアプレーカップ大会のシードとなる。
- ⑤ 大会においては、選手の（財）日本サッカー協会に個人登録を行なう必要はない。  
大会では選手証の確認は行なわない。

## ＜＜１４ ブロック ２年生大会＞＞

### １．参加資格

２年生以下で編成されたチームであること。

### ２．競技規則

① 大会方式は一次リーグ全参加チームで行い、２次もリーグ戦にて実施する。

大会運営上の都合により、リーグ戦を用いない場合もある。

② 試合時間は、２０分（前後半１０分・インターバル３分）とする。

３チーム、４チームリーグ：１０分ハーフとする。但し、４チームの場合、時間の短縮あり。

③ ５人制による競技とする。（１ 審制+補助審判１名）

別紙、試合の時程表で審判の割当を行う。

④ ゴールはフットサルゴールを使用する。 但し、フットサルゴールがない場合は少年用でも可とる。

⑤ 大会の２次リーグ１位は、次年度の１４Ｂ３年生大会のシードとなる。

⑥ 大会においては、選手の（財）日本サッカー協会に個人登録を行なう必要はない。

大会では選手証の確認は行なわない。

## 8 人制競技規則

### 1. 人数について

- ① 試合成立の最少人数は、8 名とする（試合開始時）

※試合開始時に選手が 8 人揃わない場合には、参考試合とする。

- ② 選手が退場（レッドカード・イエローカード累積）の場合には、即補充する事が出来る。
- ③ 試合途中に 6 名未満となった場合には、その試合を参考試合とする。

■全日本少年サッカー大会ブロック予選の取扱い：

8 人（内 1 人はゴールキーパー）試合開始時 8 人が必要である。

怪我人、退場者で競技者が欠けた場合には即補充し常に 8 人で競技を続けること。

競技者が退場を命じられた場合、競技者のチームは競技者を補充する。

常にピッチ上に 8 人いなければ参考試合となる。

### 2. 交代の手続き

- ① 交代して退く競技者は、交代ゾーン（両ベンチ間のハーフウェーラインから左右 3 M）からフィールド外に出る。

- ② 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。

- ③ 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず、行う事ができる。

※①～③までの交代については、主審、補助審判の承認を受ける必要はない。

- ④ ゴールキーパーについてはアウトオブプレー時に主審に通告して行うことができる。交代ゾーンからの入れ替えとする。

- ⑤ 怪我の場合には、主審のコントロールにより、交代ゾーン以外（どこからでもフィールドを離れてもよい）から退出できる。

注：ゴールキーパーの負傷退場等により、緊急避難的にフィールドプレーヤーがゴールキーパーに代わる場合については、その競技者の番号等の表示を義務付けるものではない。

- ⑥ 4 審制の場合にはハーフウェーラインから副審とは逆サイド側だけに 3m の交代ゾーンを設置する。審判員と交代選手の衝突を防ぐために副審(A1)側には交代ゾーンを設置しない。

### 3. 不正入場に関して

選手の入れ替えの際、交代要員が先にフィールド内に進入した場合、選手が戦略的に意図をもって進入したと主審が判断した場合のみ、不正入場した選手はイエローカードを示される。

不正入場を防止するために、チームにて選手に指導をすること。

交代は、該当選手同士で行うことが望ましいが、ベンチより監督、またはコーチが声で合図をしても良い。

### 4. 補助審判について

- ① 補助審判は、交代の手続が円滑に行われるように主審を援助する。

（競技者が交代ゾーンから出てから、交代要員が入ることを監視し指導する。）

- ② フィールド内の選手に交代することを伝える必要はない。

### 5. PK戦について

トーナメント戦でその試合の勝敗をつける場合には、両チーム 3 人ずつの PK 戦を行う。3 人ずつ



つのキックを行い、同点の場合にはサドンデスとする。

## 6. その他

- ① キックオフシュートが直接相手ゴールに入った場合、相手チームのゴールキックで再開する。
- ② 上記以外の規則に関しては、日本サッカー協会競技規則に準ずる。

## ユニフォーム規定

### ＜ユニフォーム＞

本規定においてユニフォームとは、シャツ、ショーツ、およびストッキングの3点を総称したものを言う。

14ブロックに所属するチームは、上衣（シャツ）、下衣（パンツ）、ストッキングの全てを正・副2着を用意する。（キーパーも同様とする）

※3年生に限り、FPについては副が無い場合はビブスの着用を認めるが、GKについてはビブスの着用を認めない。

### ＜ユニフォームの色彩＞

① チームのユニフォームシャツ（ゴールキーパーのユニフォームを含む）の色彩は、審判員が通常使用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。

※フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともにユニフォーム（シャツ）の主たる色彩が黒色は不可とする。

② フィールドプレーヤーのユニフォーム前面と背面の色彩は同じであるものとする。

③ 主審が、対戦するチームのユニフォーム（ゴールキーパーのユニフォームを含む）の色彩が類似しており、判別しがたいと判断したときには、主審は、両チーム立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。

④ 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツおよびストッキングのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

※14ブロック大会の初日・2日目においては、試合前に対戦するチームの代表者同士が話し合い、本部に確認した後、判別しやすい組み合わせで準備をすること。

### ＜ユニフォームへの表示＞

ユニフォームにはチーム名・選手番号を必ず表示するものとする。

① チーム名

（1） チームエンブレム シャツの左胸100cm<sup>2</sup>を越えないサイズ

（2） チーム名をエンブレム以外で表示する場合はシャツ前面または左胸300cm<sup>2</sup>

（3） チームエンブレムはショーツ・ストッキングに表示することができる。

ショーツ 左右どちらか一ヶ所50cm<sup>2</sup>を越えないサイズ

ストッキング 左右一ヶ所ずつ50cm<sup>2</sup>/一ヶ所

② 選手番号

（1） 選手番号は、服地と明確に区別し得る色彩（服地が縦柄の場合には台地を付ける）であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。

（2） 選手番号を付する場所およびサイズは、次の通りとする。

背番号サイズ 20cm×20cm～35cm×35cm

※身長150cm以下の選手等が着用する小さいユニフォームの場合は、サイズを適宜縮小することができる。

胸番号サイズ 8 c m × 8 c m ～ 1 5 c m × 1 5 c m (右、左又は中央)

※選手番号は、固有の番号とすること。フィールドとキーパーを兼任する選手は、同番号のフィールドユニフォームとキーパーユニフォームを用意すること。3年生大会でも、同様とする。

(3) 番号は整数の1から99を使用し、0は認めない。登録選手が100名以上の場合に限り、100以上の番号を認める。

(平成25年度全日本少年サッカー大会14ブロック予選より施行)

チームで用意するユニフォーム例

(フィールドプレーヤー [以下 F P]、ゴールキーパー [以下 G K])

F P、G Kとも、ユニフォームシャツの主たる色が黒色を使用することを禁止とします。

F P、G Kとも、それぞれ正副、異なる色のユニフォームを用意する。

F P、G Kとも、背番号と胸番号の入ったユニフォームを着用する。

<正しい例>

F P 正：赤 (上)、白 (下)、赤 (ストッキング) 副：青 (上)、青 (下)、青 (ストッキング)

G K 正：黄 (上)、黄 (下)、黄 (ストッキング) 副：緑 (上)、緑 (下)、緑 (ストッキング)

<失格となる例①>

F P 正：赤 (上)、白 (下)、赤 (ストッキング) 副：青 (上)、白 (下)、青 (ストッキング)

G K 正：黄 (上)、黄 (下)、黄 (ストッキング) 副：緑 (上)、緑 (下)、黄 (ストッキング)

<失格となる例②>

F P 正：青 (上)、白 (下)、黄 (ストッキング) 副：赤 (上)、赤 (下)、白 (ストッキング)

G K 正：紫 (上)、赤 (下)、赤 (ストッキング) 副：緑 (上)、緑 (下)、黄 (ストッキング)

## 変更履歴

更新日	変更内容
2014/4/10	新規作成
2014/4/18	2. 競技規則⑮ 審判員のメガネ着用に関する規定を削除
:	2. 競技規則⑯ 2チームエントリー可能な大会を限定
2014/5/10	東京都 J A 東京カップ 1 4 ブロック予選の規定改定 < J A リーグ戦・代表決定戦の組合せ方法等 >
2015/1/15	新人戦 1 4 ブロック大会の規定改定
2015/3/21	全日本 U12 リーグ戦、代表者決定の規定改定
2015/4/25	J A 大会：第 3 ピリオド制を採用する規定改定
2015/6/27	U12-リーグ戦のユニフォーム規定の一部 免除について J A 大会：第 3 ピリオド制を採用する規定の詳細化
2015/7/31	2. 競技規則⑪ 3 ピリオド制の G K ユニフォーム免除について 2. 競技規則⑯ 3 ピリオド制の採用大会の細則（追加） 8 人制競技規則：4 審制の交代手続き（会場設営基準より追記）
2016/3/27	2. 競技規則⑤ベンチ入り指導者について（追加） 2. 競技規則⑰ 4 審制と 1 審制+補助審の分担 東京都 U-12 サッカー 1 4 ブロックリーグ戦の規定追加 全日本少年サッカー大会 1 4 B ブロック予選 2. 競技規則の改定 新人戦大会名の変更及び 1. 参加資格の改定 8 人制競技規則 1. 人数について改定
2016/8/4	2. 競技規則⑬ クーリングブレイクについて（追加） 2. 競技規則⑰ 1 4 ブロック主催大会での参加チーム数について（変更） 5. その他①熱中症対策について（追加） 東京都 U-12 サッカー 1 4 ブロックリーグ 2. 競技規則①-5）試合時間の追加 J A 東京カップ 2. 競技規則②試合時間の変更及び 3 ピリオド制・④参加人数の削除
2016/9/9	2～5 年のブロック交流戦大会の名称を変更
2017/3/25	2. 競技規則⑦選手登録表提出時間について（変更） 2. 競技規則⑰ 2 チームエントリーについて、2 チームでの中央大会出場可能。 2. 競技規則⑰ 5 人制大会での 2 チーム以上参加条件について（変更） 2. 競技規則⑱審判員の眼鏡着用について（追加） J A 東京カップ 2. 競技規則②二次予選以降の 3 ピリオド制について（追加）
2017/6/22	東京都 U-12 サッカー 1 4 ブロックリーグ 2. 競技規則④の追加
2017/6/26	東京都 U-12 サッカー 1 4 ブロックリーグ 2. 競技規則①-5）後期リーグ試合時間（変更） J A 東京カップ 2. 競技規則②試合時間（変更）